

ロボコンプロジェクトの歴史

History of Robocon Project

ロボコンプロジェクトは、学内の有志による高専ロボコン参加のための組織です。
高専ロボコンで継続して勝つことを目標として2007年に発足、現在で7年目を迎えます。
発足当初はなかなか結果は出ませんでした、2008年には地区大会優勝を、
2010年から2013年まで4年連続で全国大会に出場しています。

2010
「激走！ロボ力車！」

Aチーム
「隼」

地区大会ベスト4
技術賞受賞
全国大会ベスト8
アイデア賞受賞



Bチーム
「ロシクル・カウソイガー！」

地区大会ベスト4
アイデア賞受賞



2011
「ロボ・ボウル」

Aチーム
「Decoy」

地区大会優勝
全国大会ベスト8



Bチーム
「ボールBANG!!」

地区大会準優勝



2012
「ベスト・ペット」

Aチーム
「iRod」

地区1回戦敗退
ベスト・ペット賞受賞



Bチーム
「MechaPon」

地区大会準優勝
全国大会ベスト8



2013
「Shall We Jump?」

Aチーム
「じゃんぺん」

地区大会優勝



Bチーム
「Xboxer-One」

地区大会準優勝
シャル・ウィ・ジャンプ賞受賞
特別賞受賞



Robocon Project

Nara National College of Technology



高専ロボコン2013 Shall We Jump?

奈良高専Aチーム じゃんぺん

～ストーリー～

子ペンギンであるジャンパーロボットは、ペンギンであるにも関わらず、空を飛ぶことを夢見て、ジャンプを続けていきます。仲間のペンギンたちである縄回しロボットと、チームメンバーは子ペンギンを一所懸命応援します。

近畿地区大会優勝



奈良高専Aチーム「じゃんぺん」は、全国大会優勝を目指して製作されたロボットです。ジャンパーロボットのモチーフは子ペンギンで圧倒的な歩行速度を実現する歩行機構と回数制限がなく安定した連続ジャンプを実現するジャンプ機構を有しています。縄回しロボットのモチーフは、仲間のペンギンたちで、安定した連続ジャンプを実現するために、縄のねじれ対策など様々な工夫が施されています。

10月13日に大阪府大高専主幹で開催された地区大会では、1回戦・2回戦は安定した戦いを見せ勝利、準決勝の連続ジャンプでは、大会最多となる107回のジャンプを成功させました。2年ぶりの同校対決となった決勝戦では、43回の連続ジャンプを決めて優勝しました。

「じゃんぺん」は、近畿地区の代表として11月24日に両国国技館で行われる全国大会に出場します。

地区大会

1回戦 vs 明石高専Aチーム
43秒でゴールし、勝利

2回戦 vs 近大高専Aチーム
1分04秒でゴールし、勝利

準決勝 vs 和歌山高専Bチーム
107回の連続ジャンプで勝利

決勝戦 vs 奈良高専Bチーム
43回の連続ジャンプで勝利



高専ロボコン2013 Shall We Jump?

奈良高専Bチーム Xboxer-One (エックスボクサーワン)

～ストーリー～

新米ボクサー(ジャンパーロボット)とそのトレーナー(ジャンパー高専生)が共にトレーニング(縄跳び)を積み重ね、チャンピオンを目指します。

近畿地区大会準優勝
シャル・ウィ・ジャンプ賞受賞
マブチモーター特別賞受賞



奈良高専Bチーム「Xboxer-One」は、高専ロボコンにおいて最大の名誉であるロボコン大賞を目指して製作されたロボットです。ジャンパーロボットのモチーフは新米ボクサーで、トレーナーであるジャンパー高専生との息の合ったコンビネーションがアピールポイントです。縄回しロボットのモチーフはレフェリーで、コングを鳴らす・LEDが点灯するなど、試合を盛り上げるための様々な機能を有しています。

10月13日に大阪府大高専主幹で開催された地区大会では決勝戦まで順調に勝ち進み、2年ぶりの同校決勝となった決勝戦にて、32回の連続ジャンプを成功させましたが、惜しくも敗退し、準優勝となりました。

安定した動きと会場を盛り上げたパフォーマンスが大きく評価され、シャル・ウィ・ジャンプ賞と特別賞を受賞することができました。

地区大会

1回戦 vs明石高専Bチーム
1分24秒でゴールし、勝利

2回戦 vs舞鶴Aチーム
1分29秒でゴールし、勝利

準決勝 vs和歌山高専Aチーム
30回の連続ジャンプで勝利

決勝戦 vs奈良高専Aチーム
32回の連続ジャンプを成功させるも敗退

